

大会実施要領 (新型コロナウイルス感染対策)

大会要項における確認事項

次のことが当てはまる人は
大会に参加できない。



大会当日、会場入口前で検温を実施

- ・ 体温が 37.5 度以上ある人や 37 度以上あり且つ風邪症状がある人。
- ・ 同居家族や身近な知人に感染者または感染の疑いのある方がいる人。
- ・ 過去 14 日以内に渡航歴のある人や感染流行地域を訪れた人。
- ・ 基礎疾患のある人は、あらかじめ主治医に相談し、大会参加の了解を得てください。

※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人。

- 大会に申し込む人は、**自己の責任**において当日の大会に参加するものとする。
- 過去に新型コロナウイルス感染歴のある方は、大会参加について医師と相談して決める。
- 大会参加者（選手、大会役員・係員）以外の方の入場は、できません。
(入場者はマスク着用)



大会当日の注意事項

- **着替えは原則自宅**で済ませておく。やむなく大会会場内の更衣室を利用する場合は密を避け、交代で使用する。
- 大会に参加する時は**マスクを必ず着用**すること。(外出時から着用)
- **自分の剣道具および竹刀、面手拭などを他の人に貸さない。**
また、他の人の物を**使わない**。(忘れ物をしないこと)
- 施設内に入場する者は全員必ずマスクを着用し、私語を慎むように心がける。
- 入場する時も含めて、常に**フィジカルディスタンス**(他の人との距離)を2m(最低でも1m)確保する。試合会場へ入場する選手の人数制限を検討する。



- 試合前および試合後に**手洗い、うがい、手指のアルコール消毒**を行う。
できれば足の裏も除菌用ウェットティッシュで拭く。
ごみはビニール袋に入れ密封する。



試合について

※道具の貸し借りは禁止

【選手】

- 飛沫防止対策用の面を必ず使用する。面マスクを必ず着用する。
- 面マスクの着用については、酸欠にならないように
 - ①立体的に覆う（マスクと口の間少し空間を設ける）
 - ②鼻を出して覆うなど、工夫することが大切である。
- 目印は必ず自分の物を使用。会場内外では常にマスクを着用する。
- お互いに鏝迫り合いにならないように試合を行う。もし鏝迫り合いになったら気合は発しないこと。



- 試合が終了したら、すみやかに会場（施設）から退出する。
- 大会中に発熱したり体調が悪くなった時は、棄権してすぐに帰宅して経過観察する。